



蒲池 恭一 議員

## 学校建設に対する交付金は出るのか？

**問** 3月11日に発生した東日本大震災は、未曾有の大震災であり、その復興には数十兆円かかると言われている。そのような中で、学校建設費46億円(菊水地区36億円、三加和地区10億円)を計画し、土地買収等の予算が議会で可決され、現在進められているが、合併特例債、過疎対策事業債等の交付金が予想どおり得られるか何う。

**答** (町長) 合併特例債及び過疎対策事業債については、毎年度元利償還金の70%に相当する額が地方交付税の基準財政需用額に算入されることと成っており、現在、地方債の地方交付税算入については、国、県から何も示されていない状況で、学校建設に係る地方債の地方交付税算入は、補償されるものと考えており、今後とも国、県の動向を注視し

ながら、町の財政運営に取り組んでいく。

**問** 学校跡地の計画について何う。

**答** (総務課長) 23年度に学校跡地等検討委員会を職員により設置し、その中で今後の基本的な活用方法を示し、また一方で、地域の方々の意見、要望などを反映するために、跡地利用の意向のアンケート調査を実施したいと考えている。

## 子どもたちの教育環境は大丈夫なのか！

**問** ここ数年、特に異常気象で2010年の最高気温(熊本)は、9月に37度を記録している。そのような環境の中、児童・生徒が勉学に励むことができるか心配している。そこで、どのような対策をされているか何う。

**答** (教育長) 昨年一番心配したのが運動会の練習で、熱中症の心配で学校現場が危機感を持って当たったところである。その上に立って、今年度は小中学校の運動会、体育大会を5月に変更させて頂いた。教室の学校環境を見ますと、



全校生徒78名が勉学に励む春富小学校校舎

町内の半数の小学校で扇風機が各教室に1台というのが実態で、未設置の学校には、設置を前提として、予算等で学校と詰めているところである。

## 年々高くなる医療費・介護費！その対策は！

**問** 町の医療費・介護費の推移はどの様になっているか何う。

**答** (税務住民課長) 国民健康保険の医療費の推移は、平成20年度11億4,700万円、平成21年度12億2,700万円、平成22年度13億1,100万円、一人当たりの医療費にすると、平成20年度29万8,000円、平成21年度32万円、平成22年

度34万7,000円で、毎年7%ずつ増加している。

**答** (健康福祉課長) 介護給付費の推移は、平成20年度12億7,500万円、平成21年度13億5,300万円、平成22年度13億9,600万円、平成20年度から平成21年度は7,700万円増(6%)、平成21年度から平成22年度は4,300万円増(3.2%)となっている。

**問** 町として医療費・介護費を下げるための対策はどのようにされているか何う。

**答** (町長) 平成22年度から国の100%補助事業の国保ヘルスアップ事業を活用し、医療費抑制と国保財政の健全化という大きな成果が期待できる、予防が可能は慢性腎臓病に重点を置き動き出したところで、一定の成果を上げるためには、時間がかかると思われるので、中長期的な目標とし、個人の健康状態の改善を短期目標としているところである。具体的な対策として、健診結果やレセプト(医療明細書)から、保健師・栄養士による重症化予防のため、地道な保健指導をしている。

## 絶対しなくてはいけない基盤整備!!

**問** 和水の西部地区は平成21年度に申請を行い、平成22年度には事業が採択され、今年度から予算が計上されているが、和水東部地区の計画を伺う。

**答** (町長) 中山間地総合整備事業については、厳しいというよりも、どうしようもない状況で、一つの地区から申請したものが二つに分割され、和水東部地区については、いまだ事業採択されていない状況である。今後しっかりと早期実現に向けて、関係機関に要望していきたいと考えている。

**問** 一人暮らしの人、高齢者の方々が多数おられるので、この切実な思いを県、関係機関に訴えて頂きたいと思う。又、この事業は南関町との事業であるので、南関町長と一緒に手を携えて知事等に陳情をして頂きたいと思う。

**答** (町長) 私どもの思いは届かず、歯がゆい思いをしているが、出来る限り南関町長と共に頑張っていきたい。